

令和 7 年度

事業者番号

2049

事業所番号

204902

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

（1）事業所種別

事業所種別	B 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL以上の事業所（種別Cの事業所を除く）
B	

（2）事業所及び事業内容

事業所名	テイ・エス テック株式会社 埼玉工場		
事業所所在地	市区町村	行田市	
	字・地番	野3600番地	
産業分類名（中分類）	31 輸送用機械器具製造業		
分類番号（中分類）	31		
事業活動の概要	事業内容	主な製品：四輪車用シート、四輪車用内装品の製造（埼玉工場）	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

（1）第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	～	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ （必須）	令和5年度まではA事業所であったが、令和6年度からB事業所となった。		
	その他ガス			
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量（計画期間合計）		t-CO ₂	
	削減目標量（計画期間合計）		t-CO ₂	事業所区分

（2）第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ （必須）	これまでの低炭素電力の導入、再生可能エネルギーの自家消費により、電気からの排出量が0t-CO ₂ /年となっている。第4計画期間においても、この取り組みを継続し、令和6年度の電気以外の排出量（75t-CO ₂ /年）と同程度とすることを目標とする。				
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
					1,579

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂						0
	前 年 度 比（％）	—				
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 窒 素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六 fluor 化 い お う					
	三 fluor 化 窒 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計						0

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位						0.0000
	前 年 度 比（％）	—				
活 動 規 模 の 指 標 単 位						

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度 (2020年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和３年度 (2021年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和４年度 (2022年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和５年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和６年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
	令和6年度から埼玉工場単独で原油換算エネルギー使用量が1500klを上回ったためB事業所へ変更となりました。令和5年度のA事業所に含まれていた時と同様に、低炭素電力の導入、再生可能エネルギーの自家消費により、事業所としてCO2のゼロ排出を実現しています。					

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)	
	区 番	分 号	区 分 名 称					
			大 区 分					中 区 分
1	310400		一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	構内空調・デマンド管理によるエネルギーロス削減（第3計画期間も継続）	R1以前	R1以前	1.0
2	490200		その他	49_その他の削減対策	再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入（第3計画期間も継続）	R1以前	R1以前	50.0
3	490200		その他	49_その他の削減対策	再生可能エネルギー由来の電力の購入（第3計画期間も継続）	R2	R2	35.0
4	330200		空調調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機入替え	R5	R5	8.0
5	330200		空調調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調 室外機に底設置	R5	R5	3.5
6	310200		一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	エア漏れ修繕	R5	R5	3.0
7	330200		空調調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	換気ファンブリーリー径変更	R5	R5	1.8
8	330200		空調調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機のクランクケースヒーター待機電力削減	R5	R5	2.0
9	330200		空調調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機入替え	R6	R6	9.7
10	330200		空調調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備メンテナンス	R6	R6	9.6
11	380700		照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	蛍光灯間引き	R6	R6	0.5
12	310200		一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	生産設備保全	R6	R6	11.3
13	410700		事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	自販機入れ替え等	R6	R6	1.7
14								
15								

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

・ISO14001国内全事業所認証取得し、地球温暖化対策や廃棄物・水の削減などに取り組んでいます。
・2018年度にはISO50001を国内全事業所認証取得しました。
エネルギーマネジメント体制を設置し、各事業所にて電力監視システム（建屋またはフロアごとに電力量を把握できるシステム）等を活用しエネルギーの分析および削減活動を展開しています。
その他活動につきましては下記を参照下さい。

【当社ホームページ】

<https://www.tstech.co.jp/>

【統合報告書】

<https://www.tstech.co.jp/sustainability/report/>